

1. 意見

別紙

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

多目的に活用がなされるサンルダムの建設は、毎年の限られた予算の中ではあるが、取り付け道路などを含め少しずつ進んでいるようですが、その先についてはまったく見えていません。

ダム建設の目的は、一つには災害を防ぐこと、名寄川、天塩川流域に住んでいる住民の生命と財産を守ることです。

100年に一度あるかないかと言われている大洪水は、明日起きるかも知れません。まさに災害は忘れたころにやってきます。

第二には、利水です。生命に大切な飲料水の確保。名寄市は間蘂別にて名寄川の水をポンプアップして浄水場で水道水にし市民に供給しています。安全で安心しての水道水をつくるためには一定の水量確保が不可欠です。現在、夏の渇水期には大腸菌は基準値を大幅に上回っていますし、クリプトスポリジウム原虫などの心配をしながら、また近年は名寄川上流の酪農家は堆肥盤を設置していますが家畜のし尿が流入するおそれがあります。

サンルダムができることにより、名寄川の水量が夏でも常に一定になることから、今まで以上に安全で安心できる水道水が供給されるのです。さらに申し上げるまでもなく農業、工業に利用される水も安定して供給されるのです。

第三に多目的な活用では水力発電や観光にも一役かってくれるものと確信しています。

以上のことから、サンルダム早期完成を願い、清風クラブは市民お一人お一人に理解をいただけるよう積極的に取り組んでまいります。何とぞ、ふるさとが安全で安心して生活できる世界で一番のまちづくりをしようではありませんか。